

ボート

北海道インターハイ 女子クォドルプル五連覇

世界ボートジュニア選手権 美方メンバー世界の強豪に立ち向かう

男子クォドルプルは僅差で3位

七月三十一日、北海道網走湖でインターハイボート競技の決勝が行われた。女子舵手付きクォドルプル(満田・武田・小野寺・志賀・野瀬)でインターハイ五連覇を成し遂げた。男子舵手付きクォドルプル(寺田・中田・石田・天渡・浜松)は僅差で三位となった。女子ダブルスカル(江田・中世古)は順調に決勝まで勝ち進み六位となった。

八月二日、六日にフランスのパリでU19世界選手権が行われた。美方からは岡本風哉と岩本結愛が出場した。

た。ここからが勝負、美方の持ち味である後半の追い上げで相手をついて、六五〇m付近でトップに立ち、約三秒差をつけてフィニッシュした。小野寺紗耶さんは「三年生は最後のインターハイで連覇のプレッシャーがあったがミレーティングやイメージレースを繰り返して大会を振り返った。また「全国選抜、インターハイに続いて、次の国体でも優勝し、三冠を



ゴール直後、歓喜する女子クォドルプルのクルー



前半、トップを走る男子クォドルプルのクルー

女子舵手付きクォドルプルは、圧巻のレース運びでインターハイ五連覇を達成した。決勝は中間地点の五〇〇mを、熊本学園大学付属高校に続く二位で通過した。ここからが勝負、美方の持ち味である後半の追い上げで相手をついて、六五〇m付近でトップに立ち、約三秒差をつけてフィニッシュした。小野寺紗耶さんは「三年生は最後のインターハイで連覇のプレッシャーがあったがミレーティングやイメージレースを繰り返して大会を振り返った。また「全国選抜、インターハイに続いて、次の国体でも優勝し、三冠を

「獲りたい」と目標を語った。男子舵手付きクォドルプル決勝は、序盤理想通りの展開で五〇〇mをトップで通過。しかし、そのまま逃げ切ることができず三位となった。一、三位が一秒以内の大接戦を終え、男子キャプテンの天渡羅偉さんは「率直に悔しい。もつとチームや自分に厳しくするべきだった」と振り返った。今後は「後半も艇を伸ばし続ける体力やパワー、技術をつけ、国体で日本一を奪還したい」と意気込んだ。

U19世界選手権では、岡本風哉がクォドルプルで出場し、六位、岩本結愛がダブルスカルで十九位となった。岡本さんは「世界の壁を感じた。スタートから攻



心一つに戦った選手たち

め姿勢で挑んだ。次の国体では絶対優勝したい」と語った。岩本さんは「強豪相手に最後まで食らいつくことを考え過ぎ続けた。世界のトップ選手と戦い良い経験になった」と振り返った。二人は十月のU19アジアジュニア選手権にも出場する。

【清水先生から】インターハイについて「女子クォドルプルはこのメンバーなら必ず勝てると思っていた。国体に向けてタイムを出す走りをしていく」「男子は思い通りの展開だったがスパートが足りなかった。国体でリベンジしてほしい」と話した。

陸上インターハイ
全国の舞台での奮闘

八月二日、六日、札幌市厚別公園競技場にてインターハイ陸上競技が行われた。美高からは上田凌久さんが五〇〇mに出場した。上田さんは大会前からの怪我の影響で、万全のコンディションで挑むことができなかった。結果は予選三組十九位でレースを終えた。上田さんは「その時出せる力は



ラストスパートをかける



大きな桜島と

【参加した感想】
職員から学ぶことがたくさんあった。

美術・工芸部門は鹿児島市立美術館で行われた。他県の生徒と班を組んで作品の鑑賞会をしたり、起き上がり小法師を作って交流した。二、五の呉服ひなたさんは「全国の作品を見て私も歩みを止めず

文化部の全国大会 鹿児島総文とかるた大会

七月二十九日、八月四日、鹿児島県で全国総合文化祭が開催された。新聞部と美術部が各部門に参加し全国から集まった生徒と交流した。かるた部は全国高校選手権に出場した。

わっぜえたくさん！ 鹿児島の魅力を取材 新聞部

新聞部門は志學館大学で行われた。六人班に分かれて鹿児島市内各地を取材し、その魅力を交流新聞に書き上げた。他にも代表校による活動発表や、年間紙面審査賞の表彰式が行われ、本校は奨励賞に選ばれた。

【参加した感想】
職員から学ぶことがたくさんあった。

新たな歩み 美術部

美術・工芸部門は鹿児島市立美術館で行われた。他県の生徒と班を組んで作品の鑑賞会をしたり、起き上がり小法師を作って交流した。二、五の呉服ひなたさんは「全国の作品を見て私も歩みを止めず

起きあがり小法師作り



自分の表現で作品を描いていきたい」と語った。

次大会でリベンジ かるた部

七月二十三日に滋賀県大津市近江勸学館で小倉百人一首競技かるた全国高等学校選手権大会が行われた。二年の山田唯華さんと木原芹夏さんが出場した。一回戦敗退だったが、山田さんは「次の大会ではもつと勝ち進めるように努力していきたい」と語った。

美高の音色響かせる 全日本吹奏楽コンクール 福井県大会金賞

七月二十二日、吹奏楽部はハーモニーホールふくいで全日本吹奏楽コンクール福井県大会に出場し、金賞に輝いた。曲は「マードックからの最後の手紙(二〇二一年版)」。三宅佑奈さんは「部員の心が一つになった」と振り返り、「少人数になるが心に残る演奏を人々に届けてほしい」と後輩へエールを送った。石川先生は「一体感のある演奏だった。今後もコンサートを盛り上げていきたい」と語った。



音楽室で大会前最後の合奏

泉ノ原

夏といえばスイカ。普通は丸い形を思い浮かべるだろう。しかし、世の中には四角やハート型のスイカも存在する。これらは農家さんが観賞用として作っているそうだ▼ちなみに、甘いスイカは①シマ模様のはっきりしている②オヘソが大きい③この二点で見分けることができる。選ぶ時はチェックしてみよう▼スイカは水分豊富でエネルギーとなる糖分も含まれ、熱中症予防効果がある。まだまだ暑い日が続くが、スイカを食べて残暑を乗り切りたい。